

令和4年度 地域公共交通計画の評価結果 概要（全体）

## 春日井市地域公共交通会議 （春日井市）

平成27年4月1日設置

令和3年1月 春日井市地域公共交通計画策定  
（計画期間：令和3年度～令和7年度）

令和5年2月 令和3年度・4年度 評価結果送付

# 1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

## 特長

- ・鉄道や路線バスなどの利便性の高い公共交通  
→4路線の鉄道や路線バス、かすがいシティバス（コミュニティバス）
- ・名古屋圏を代表する住宅都市  
→名古屋市を經由した広域の移動、都市間をまたぐ通勤通学

## 課題

- ・人口減少や高齢化の進行  
→鉄道駅周辺等で都市機能を集積させ、多くの人でにぎわうまちづくり  
→まちづくりを支える交通サービスの提供
- ・市の継続的な発展  
→子育て世代から定住の場として選んでもらえるような魅力の創造  
→自家用車を過度に使わなくても快適に暮らせる都市の構築

### 基本理念

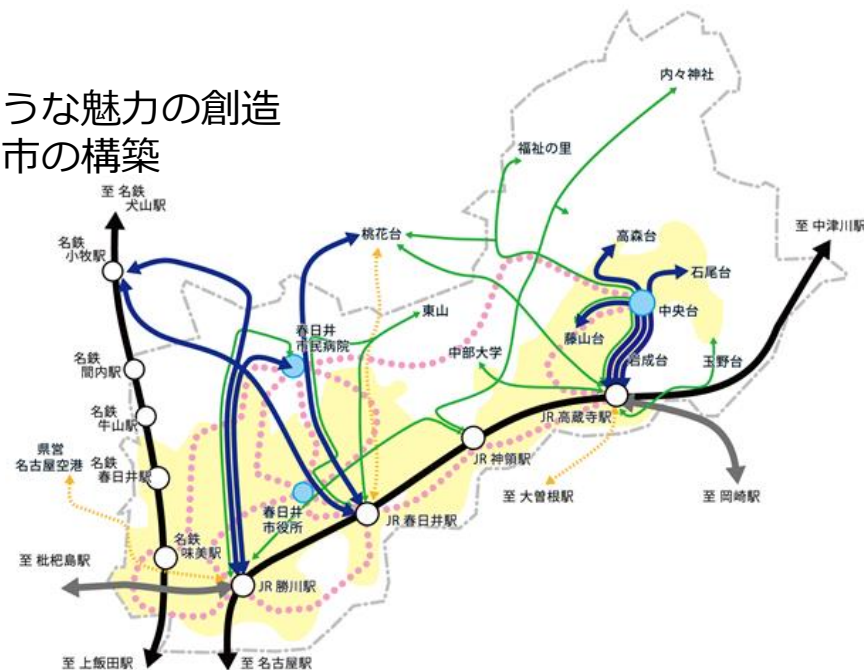
心地よくつながる公共交通網  
～より暮らしやすい“ライフタウン”春日井へ～

### 基本方針

目標1  
鉄道とバスによる利便性の高い公共交通網の形成

目標2  
多様な交通の組み合わせによる市民の移動手段の確保

目標3  
みんなで支える公共交通の体制づくり



	基幹路線		都市間連絡バス路線
	準基幹路線		地域生活バス路線
	基幹的なバス路線		主な駅
	地域間連絡バス路線		主なバス停

	居住誘導区域
--	--------

## 2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

### かすがいシティバス路線の見直し（令和3年10月から）

- ・一周に多くの時間をかけていた東環状線を2路線に分離
- ・地域住民主体の検討会を立ち上げ、利用が少ない路線に代わる、新しい移動手段として北部オンデマンドバスの運行開始

見直し前 R2.10~R3.9	利用者数(人)	見直し後 R3.10~R4.9	利用者数(人)
東環状線	166,554	東北部線	127,959
		東南部線	59,638
西環状線	45,880	西環状線	52,266
南部線	29,456	南部線	28,103
北部線	13,809	北部オンデマンドバス	7,523
合計	255,699	合計	275,489

- 東環状線を分離したことにより約2万人の利用者の増加
- 定時定路線の北部線から予約型の北部オンデマンドバスへ変更したことにより、より広い範囲の人が乗降可能となり、必要なタイミングで利用ができるため利便性が向上



- ・1か月定額料金で乗り放題になる定期券の発行開始
- ・別路線への乗換の料金が無料になる乗継券の発行を開始

定期券 販売枚数	実証実験(枚) (R3.1~R3.3)	販売開始後(枚) (R3.10~R4.12)
一般	12/月	39/月
高齢者等	14/月	48/月



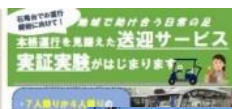
➢ かすがいシティバス全体の利用者数の増加

## 2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

### 石尾台おでかけサービス

- ・名古屋大学や関係機関と連携し、高齢者の移動支援としてゴルフカートによるゆっくり自動運転の実証実験を令和元年度から実施
- ・令和4年10月からは住民主体のNPO法人による本格運行を開始（手動運転）
- ・令和5年2月から自動運転での運行を開始

**会員運賃** 1乗車100円  
**一般運賃** 1乗車300円  
**※年会費**  
 個人会員：2,000円/人  
 世帯会員：3,000円/世帯  
 任意団体（5世帯以上）：1,500円/世帯  
 町内会・自治会（加入世帯全体で加入）：300円/世帯  
 （4月～9月末日までの入会者の年会費半分）  
 小学生以下無料



運行期間	利用者数(人)
R4.10	105
R4.11	106
R4.12	87
計	298

- 坂が多い地域のバス停までの移動手段の確保
- NPO法人を設立した地元有志の積極的な活動により、本格運行（有料サービス）開始後、想定していたよりも多くの方に利用されている。
- 一日あたりおおよそ5人乗車
- 通院や買い物、サロン活動等の移動に利用され、高齢者の外出促進につながった。

### 名鉄味美駅のバリアフリー化

- ・障がい者対応型トイレの設置
  - ・踏切の歩車分離を実施
- 駅の利便性向上
  - より安全安心に利用可能



## 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

評価指標		計画策定時	R7年度目標値	R3評価	R4評価	考察
乗降客数3,000人/日以上の駅のバリアフリー化率	%	66	100	83	83	名鉄春日井駅の整備で100%になる
市内バスの年間利用者数	千人	5,403	5,414	3,796 (R2実績)	4,057 (R3実績)	新型コロナウイルスにより利用者減少 R3評価と比較して7%上昇
公共交通の人口カバー率	%	93	95	93	94	R3は93.1%、R4は93.6% 北部オンデマンドバス乗降ポイント追加により上昇
公共交通の高齢者人口カバー率	%	83	85	83	83	R3は82.8%、R4は83.1% 北部オンデマンドバス乗降ポイント追加により上昇
シティバスの収支率	%	23	23	14.7 (R2実績)	13.8 (R3実績)	新型コロナウイルスにより利用者減少 北部オンデマンドバス運行経費の発生 かすがいシティバス人件費増加
交通の利便に対する満足度	5点満点	2.53	2.80	-	2.86 (R3調査)	R3市民意識調査実施 5点満点の平均値を計測 目標達成
地域に即した新しい移動手段の実施数	件	0	5	1	2	R3年度北部オンデマンドバス R4年度石尾台ゆっくりカート 運行開始
バスを利用した市民の割合	%	28	31	-	-	アンケート調査未実施 令和7年度実施予定
バスを利用した高齢者の割合	%	29	35	-	-	アンケート調査未実施 令和7年度実施予定

## 4. 【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針の作成

### 取組

#### <市内バスの年間利用者及びシティバスの収支率の増加>

#### ● 市内一部対象地域及び市内全域に行動変容を促すモビリティ・マネジメント事業の実施

・ 市内全域及び特定の地域で公共交通の利用を促す事業（モビリティ・マネジメント）を令和4年度から令和6年度にかけて実施中。ワークショップの開催や、関係者へのヒアリング、啓発チラシの作成、配布など、行動変容を促す取組を実施していく。



・ 春日井版MaaSアプリ「move! かすがい」の実証実験を令和5年1月から開始。スマートフォンでデジタルチケット（かすがいシティバス定期券、1日乗車券等）が購入可能になる他、市内協賛店で使えるクーポンの発行や、タクシーやオンデマンド交通の予約、目的地までのルート検索等が可能に。今まで以上の利便性向上など、継続して利用し続ける仕組みの確立を目指す。



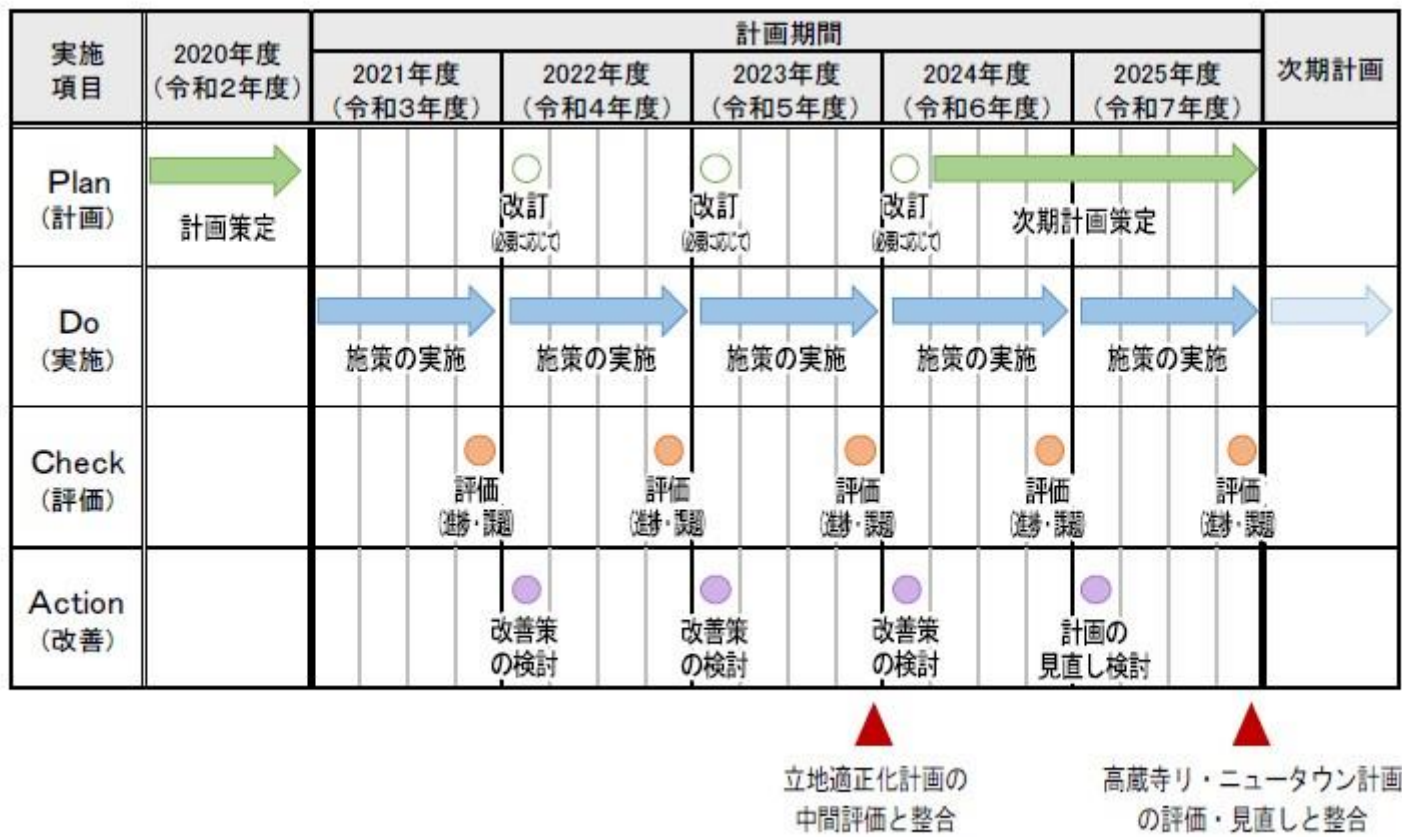
#### ● 地域住民の外出支援を目的に小型車両による新たな輸送サービスの実証実験の実施（名鉄バス株式会社）

・ 高齢者を中心とした外出支援や需要喚起を目的に小型車両を用いて団地内を周回し、商業施設やへ向かう実証実験運行を実施中。運行経路や各停留所は地域住民と連携して決定。今後の本格運行に向けて引き続き地域住民と協力し、地域のニーズを満たす路線の構築を行っていく。



年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回			
前々回			

※令和4年度現在評価を受けたことがありません。



令和4年度の地域公共交通会議

第1回（令和4年8月24日）

- ・ 自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の新規登録について
- ・ 高蔵寺ニュータウンにおける交通に関する取組について
- ・ 高蔵寺ミニバス試験運行の実施について

第2回（令和5年1月24日）

- ・ 自家用有償旅客運送の運送の対価の変更について
- ・ 春日井市地域公共交通計画の実施状況について
- ・ サンマルシェ循環バスの見直しについて



＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

春日井市地域公共交通計画の評価等結果（令和3年4月～令和5年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
鉄道とバスによる利便性の高い公共交通網の形成	乗降客数3,000人/日以上 の駅のバリアフリー化率	利用者が3,000人/日以上 の市内の6駅を対象	R3:83% R4:83%	・R3に名鉄味美駅を実施 ・名鉄春日井駅を実施で100%になる	
	市内バスの年間利用者数	・名鉄バスと春日井シティ バスの合計の利用者数	R3:3,796千人（R2実績） R4:4,057千人（R3実績）	・新型コロナウイルス感染症の影響により 計画策定時より大幅に減少 ・モビリティ・マネジメント事業や名鉄バス の小型車両を用いた実証実験を実施し目 標値達成を目指す	
多様な交通の組み合わせ による市民の移動手段の 確保	公共交通の人口カバー率	・国勢調査の100mメッシュ の人口分布データ ・市の総人口に対する鉄道 から800m圏内とバス 停か ら300m圏内のいずれかに メッシュ中心が含まれる メッシュの総人口 ・かすがいシティバスの代 替手段を含む	R3:93% R4:94%	・令和4年度に北部オンデマンドバスの乗 降ポイントを追加した関係で増加	
	公共交通の高齢者人口カバー 率	・国勢調査の100mメッシュ の人口分布データ ・市の総人口に対する鉄道 から800m圏内とバス 停か ら300m圏内のいずれかに メッシュ中心が含まれる メッシュの総人口 ・かすがいシティバスの代 替手段を含む	R3:83% R4:83%	・令和4年度に北部オンデマンドバスの乗 降ポイントを追加した関係で増加	
	シティバスの収支率	・運行経費に対する運賃収 入と広告料の合計収入の割 合	R3:14.7%（R2実績） R4:13.8%（R3実績）	・新型コロナウイルス感染症の影響により 計画策定時より大幅に減少 ・モビリティ・マネジメント事業や名鉄バス の小型車両を用いた実証実験を実施し目 標値達成を目指す	

	交通の便に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査結果を使用</li> <li>・誰もが不便を感じずに移動できるに対する満足度の5段階評価の平均値</li> </ul>	R3:- R4:2.86	・目標値達成	
	地域に即した新しい移動手段の実施数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラストマイル自動運転（ゆっくりカート）、自動運転バス及び地域生活交通を検討するエリアでの交通手段の導入手段の導入件数</li> </ul>	R3:1件 R4:2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3に北部オンデマンドバスの運行開始</li> <li>・R4に石尾台おでかけサービスの運行開始</li> </ul>	
みんなで支える公共交通の体制づくり	バスを利用した市民の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に対する市民アンケート調査（郵送調査）における、最近1か月間でバスを利用した人の割合</li> </ul>	-	-	令和7年度アンケート調査実施予定
	バスを利用した高齢者の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に対する市民アンケート調査（郵送調査）における、最近1か月間でバスを利用した人の割合</li> </ul>	-	-	令和7年度アンケート調査実施予定